



# 令和2年度 感染症実用化研究事業 合同公募説明会

国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
戦略推進部 感染症研究課  
令和元年11月5日(火)



# 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

## 戦略推進部 感染症研究課

### 新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進研究事業

感染症実用化研究事業3事業合同公募説明会 令和元年11月5日

# 公募開始～研究開始までのスケジュール



<b>提案書類受付期間</b>	令和元年10月31日(木)～ <b>12月4日(水)正午</b> <sup>(注1)</sup>	
	エイズ 令和元年10月31日(木)～ <b>12月10日(火)正午</b> <sup>(注1)</sup>	
書面審査	令和元年12月中旬～令和2年1月中旬(予定)	
面接(ヒアリング) <sup>(注2)</sup>	エイズ	令和2年1月27日(月)
	新興・再興	令和2年2月4日(火)、2月5日(水)
	肝炎	令和2年2月6日(木)、2月7日(金)
採択可否の通知	令和2年2月下旬(予定) <sup>(注3)</sup>	
研究開発計画書等提出	令和2年2月下旬～3月上旬(予定)	
研究開発開始(契約締結等)	令和2年4月1日(水)(予定)	

(注1) : **e-Rad 登録** 必須

(注2) : ヒアリングを実施する場合は、対象課題の研究開発代表者に対して、原則としてヒアリングの1週間前までに電子メールにてご連絡します。

(注3) : 採択課題候補となった課題の研究開発代表者に対しては、審査結果等を踏まえた目標や実施計画、実施体制等の修正を求めたり、研究開発費合計額の変更を伴う採択条件を付すことがあります。

→公募要領  
III.2.(2)および(4)

# 提案書類等の提出に関する注意点



➤ 提案書類の提出はe-Radで行います。

- 提出期限内にe-Radによる提出が完了していない場合には、応募を受理しません。
- 「研究開発代表者」がe-Radに申請を行った時点では、AMEDへの申請は完了していません。必ず所属機関の承認手続きを行ってください。
- e-Radの操作方法に関するお問合せには事業担当課は対応できません。e-Radポータルサイトヘルプデスクにお問い合わせください (公募要領 X.照会先)。

Tel: 0570-066-877 (ナビダイヤル)  
利用できない場合は03-6631-0622 (直通)  
受付時間 9:00~18:00 (平日)

# (様式1) 研究開発提案書：3ページ



各年度別経費内訳

(単位：円)

大項目	中項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度	年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX
		消耗品費	XXX, XXX	XXX, XXX	XXX, XXX	/	XXX, XXX
	2. 旅費	旅費	X, XXX, XXX	X, XXX, XXX	X, XXX, XXX	/	X, XXX, XXX
		3. 人件費・謝金	人件費	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	/
	謝金		XXX, XXX	XXX, XXX	XXX, XXX	/	XXX, XXX
	4. その他	外注費	XXX, XXX	XXX, XXX	XXX, XXX	/	XXX, XXX
		その他	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX
	小計		XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX
間接経費 (直接経費の30%目安)		XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XXX, XXX, XXX	
合計		XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XXX, XXX, XXX	

公募要領記載の研究費の規模は**直接経費**！

<注意>・若手研究者登用費はここには含めないでください。

各年度合計は、**直接経費＋間接経費**！  
公募要領記載の研究開発費の**規模の上限を超えることがある!!**

**間接経費**  
直接経費の**30%まで**！  
\*直接経費を10,000千円とした場合、  
(3,000千円まで)

# 公募における「研究開発提案書」の記載上の注意



研究開発提案書以外に必要な書類	⑩ PMDA の事前面談・対面助言の記録等 ※必要に応じて ⑪ 臨床試験に関する資料等 ※必要に応じて ⑫ 動物実験に関する自己点検・評価結果 ※必要に応じて ⑬ <u>研究開発にかかるマネジメントに関する資料等</u> ※対象となる公募領域は必須
-----------------	---

## ① 医薬品開発の研究マネジメント

- 将来的に企業に導出することで医薬品としての実用化(製造販売承認)を目指す開発課題を応募する提案者
- 既に創薬標的の検証(ターゲットバリデーション)が終了しており、ステージゲート①以降の段階にある提案者

⇒両方に該当する場合は、「チェック項目記入表」の提出が**必須**

## ② 再生医療研究事業(研究開発課題)のマネジメント

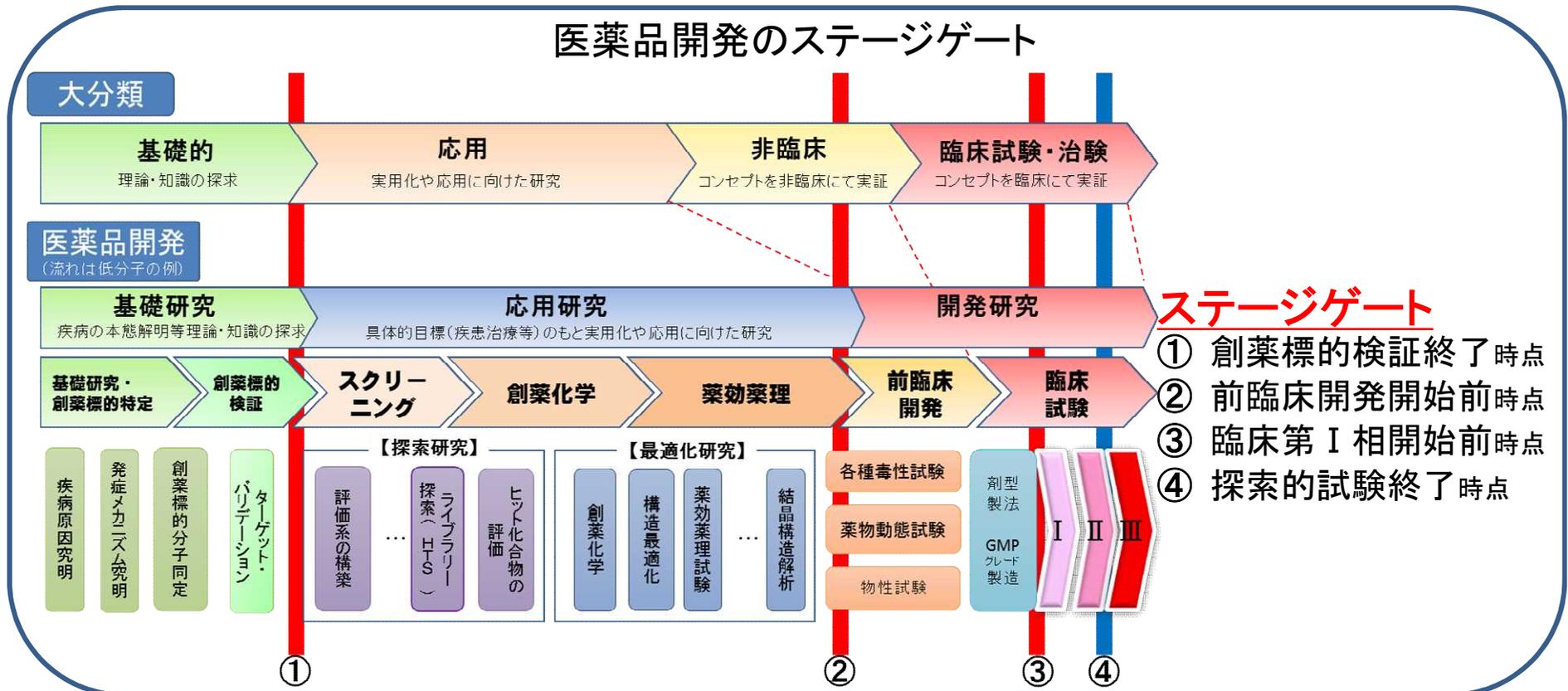
- 多能性幹細胞、体性幹細胞又は遺伝子改変細胞を用いた再生医療等の実用化にかかる研究開発課題を対象

⇒研究開発提案書の別添等の記載を**依頼予定**

→公募要領  
IV.2.(4)(d)

# ① 医薬品開発の研究マネジメント

AMEDでは、**医薬品の研究開発プロセスの重要な段階**で、**それまでの進捗状況等を確認しGo/no-go判断を行うため**、「**研究マネジメントに関するチェック項目(医薬品)**」の運用を平成30年度より段階的に開始しています。



# ①医薬品開発の研究マネジメント

1. 提案者は、医薬品開発のどのステージにいるか確認
2. 「チェック項目記入表」(①～④のいずれか)を記載し、AMEDに提出

## 「研究マネジメントに関するチェック項目記入表」ステージゲート①(創薬標的検証終了時点) 概要表

1. ターゲット又はシーズそのものの評価等に関すること	
(1) ターゲットバリデーションが適切に実施されているか。 具体的には、研究対象としているターゲットと、想定する疾患の発症メカニズム等の関連性について、エビデンスを伴い説明可能か。再現性は確認されているか。	チェック項目 ↓
(2) ターゲット・プロダクト・プロファイルに関する検討を開始しているか。 具体的には、想定する対象疾患をある程度想定し、その患者数、既存治療法の有無やその概要等の情報収集・整理がなされているか。また、本研究開発を進めていった際の開発品のモダリティ(剤型等の形態)や医療上の位置付けに関する検討を開始しているか。	
(3) 次ステージで必要となるスクリーニング系又は評価系が構築されているか、若しくは構築の目途はあるか、又は現時点ではスクリーニング系又は評価系の目安がなくても次ステージでの研究が可能とする合理的な理由はあるか。	
2. 研究環境等に関すること	
(1) 知財に関し、知財担当者と導出に向けた適切な知財戦略や具体的な対応方策について検討を開始しているか。	
(2) 次のステージにかかる研究開発実施体制(外部機関の活用を含む)の目途はあるか。	

**チェック項目:** 満たしている場合は、「○」  
 満たしていないが、研究の内容・状況を考えて開発を進める場合には、「△」  
 いずれの場合も【詳細・理由欄】を記載

# ①医薬品開発の研究マネジメント



## <提出されたチェック項目の取り扱いと注意点>

- 「チェック項目記入表」の内容は、課題評価委員会での評価対象の一部。
- チェック項目欄に「△」が記載されている場合、チェック項目を満たさなくても開発を進める理由をAMEDで検討し、**適切でないと判断した場合には、採択されないこともあります。**

\*詳細および関連資料は、以下のウェブサイトをご参照ください。

[https://www.amed.go.jp/koubo/iyakuhin\\_check.html](https://www.amed.go.jp/koubo/iyakuhin_check.html)

# ②再生医療研究事業（研究開発課題）の マネジメント

\*\*詳細および関連資料は、以下のウェブサイトをご参照ください。

[https://www.amed.go.jp/koubo/saisei\\_check.html](https://www.amed.go.jp/koubo/saisei_check.html)

# 採択後の事業の進め方、注意点について



## 採択可否の通知は令和2年2月下旬を予定

### <課題管理>

- 全ての採択課題について、毎年度、委託研究開発成果報告書の提出を求めます。
- 採択課題については、採択後の委託研究開発契約締結の際、研究開発代表者からデータマネジメントプランをAMEDに提出していただきます（詳細は採択後に別途ご連絡）。
  - ✓ 公的資金により行われる研究開発から生じるデータ等は国民共通の知的資産でもあり、データの所在等を把握し、データの収集、質の確保、意味づけ、保存と活用等が適切かつ公正に行われるよう推進するため、AMEDは、原則として全ての事業において『データマネジメントプラン』（データの種類や保存場所等を記載するもの）の提出を義務化します。  
<https://www.amed.go.jp/koubo/datamanagement.html>
- PS、PO 等が進捗管理を綿密に行います。進捗管理に当たっては、報告会の開催や、調査票、ヒアリング、サイトビジット等を通じて出口戦略の実現を図っていきます。ご対応のほど宜しくお願いいたします。なお、進捗状況に応じて、計画の変更や課題の中止等を求めることがあります。



# 若手研究者の育成・登用

AMEDでは、公的研究費を支出する事業共通の意義として、広く我が国の未来を担う研究者を育成し、また育てられた人材を通じて研究成果を社会へ還元することを推進しています。

- 若手育成枠
- 若手研究者登用

# 若手育成枠



- 公募研究開発課題【若手育成枠】に**研究開発代表者**として応募してください。
- 令和2年4月1日時点において、年齢が、**男性の場合は満40歳未満**の者(昭和55年4月2日以降に生まれた者)、**女性の場合は満43歳未満**の者(昭和52年4月2日以降に生まれた者)、又は博士号取得後10年未満の者が対象です。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満40歳未満又は満43歳未満の制限に、その日数を加算することができます。
- 海外研究機関に所属する国際レビューが書面レビューに加わるため、応募の際に提案書の指定された項目について**英語**による記載をしていただきます**「Project Description (別紙7)」**。  
安全保障貿易管理上、外国為替及び外国貿易法に基づく輸出規制対象物品の有無について確認するため、**「安全保障貿易管理に係るチェックシート」**(AMEDホームページ公募情報掲載)を提出してください。

# 若手研究者登用

- 研究開発代表者/分担者の研究室・教室などに所属し、研究開発を実施していただきます。
- 若手研究者の登用を希望する応募者は、研究開発提案書の該当する項目にその旨を明示し、**履歴書(別添様式1)**及び**若手研究者育成計画書(別添様式2)**を提出してください。
- 令和2年4月1日時点において、博士等の学位を有する者又はこれと同程度の研究能力があると認められる者。ただし、医師(日本の医師免許取得者)については、博士の学位の有無に関わらず医学部卒業後2年以上を経過した者。年齢が、**男性の場合は満40歳未満**の者(昭和55年4月2日以降に生まれた者)、**女性の場合は満43歳未満**の者(昭和52年4月2日以降に生まれた者)、又は博士号取得後10年未満の者。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満40歳未満又は満43歳未満の制限に、その日数を加算することができます。
- 若手研究者の登用に要する経費は年間**600万円(間接経費を含む)**を**上限**として、希望額を計上してください。この間接経費は指導者となる者が所属する機関の間接経費率と同じにして下さい。



※公募要領記載の研究費の規模は直接経費ですが、  
若手研究者の登用経費は、**間接経費込み**となります。

### (様式1) 研究開発提案書:3ページ

申請する若手研究者登用費

若手研究者の登用を希望する場合は、  
一人あたり6,000,000円(直接経費+間接経費)が上限となります。

研究指導者 氏名	申請する人数	若手研究者登用費 直接経費 (間接経費)
医療 花子	1人	4,615,385円 (1,384,615円)

<注意>・若手研究者の登用を希望する場合には、一人あたり6,000,000円(間接経費含む)を上限に希望額を記載してください。

- ・直接雇用ができない国の研究機関でリサーチ・レジデントの受入を希望する場合は、一律、一人あたり6,000,000円(0円)と記載してください。

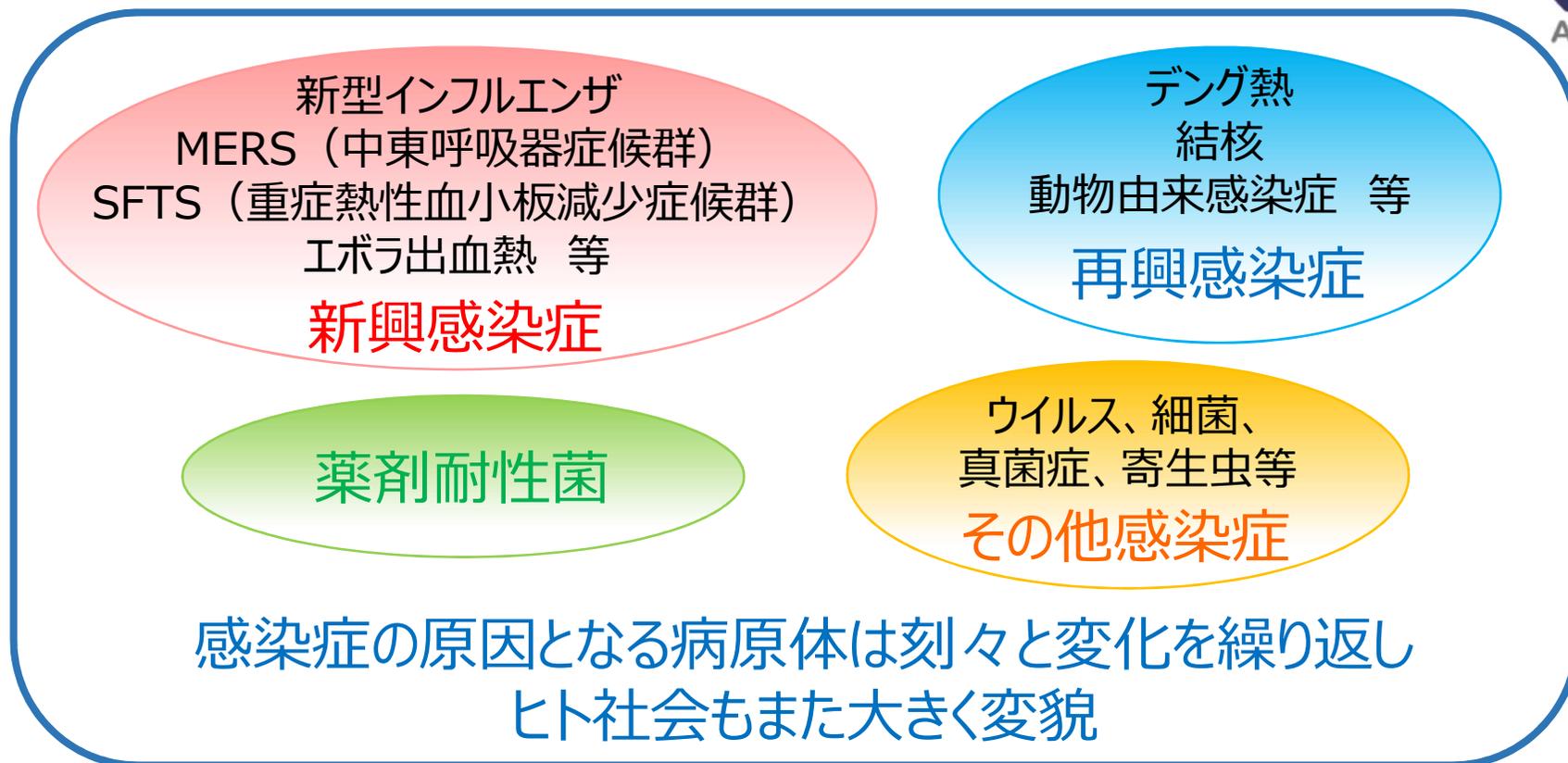
【例】指導者の所属機関の間接経費率が30%の場合

6,000,000円の内訳

直接経費:4,615,385円

間接経費:1,384,615円 (1円以下は切捨て!)

## ○背景



国内外の様々な病原体に関する疫学的調査及び基盤的研究並びに  
予防接種の有効性及び安全性の向上に資する研究を実施し、感染  
症対策並びに診断薬、治療薬及びワクチン開発を一体的に推進する

健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画 平成26年策定



## ○事業の方向性

→公募要領 P1、P40

令和2年度は、国内外で対策が必要な感染症について、患者及び病原体に関わる疫学調査、病原体のゲノム及び性状・特性等の解析、病態解明等、総合的な感染症対策の強化を目指した基盤的研究を継続して推進します。得られた知見をもとに新たな診断法・治療法・予防法の開発を目指します。これら感染症研究に携わる若手研究者の育成を実践的な環境下で行い、感染症研究の人的基盤の拡大を図ります。

## ○事業の目標

→公募要領 P1

本研究事業では、感染症から国民及び世界の人々を守るため、感染症対策の総合的な強化を目指し、国内外の感染症に関する基礎研究及び基盤技術の開発から、診断法・治療法・予防法の開発等の実用化研究まで、感染症対策に資する研究開発を切れ目なく推進します。

得られた成果は遅滞なく公表（学術誌での発表、ガイドラインの作成等）し、成果の実用化を目指します。

## 令和2年度 公募研究開発課題の概要（その1）

公募領域番号	公募課題等	委託研究開発費の規模 <span style="border: 2px solid red; padding: 2px;">（間接経費を含まず）</span>	新規採択課題 予定数
1	ウイルス性出血熱に関する予防・診断・治療法等の開発研究	1課題当たり年間 5,000千円～35,000千円程度	0～4 課題程度
2	インフルエンザ等呼吸器感染症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～30,000千円程度	0～4 課題程度
3	下痢症感染症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～25,000千円程度	0～3 課題程度
4	昆虫媒介性ウイルス感染症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～40,000千円程度	0～2 課題程度
5	HTLV-1感染症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～45,000千円程度	0～4 課題程度
6	結核に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～20,000千円程度	0～3 課題程度
7	非結核性抗酸菌症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～20,000千円程度	0～2 課題程度
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症等に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～15,000千円程度	0～2 課題程度
9	薬剤耐性菌対策に資する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～20,000千円程度	0～4 課題程度
10	真菌感染症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～20,000千円程度	0～2 課題程度
11	原虫・寄生虫症に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～20,000千円程度	0～3 課題程度
12	アジア各国とのネットワーク構築に関する開発研究	1課題当たり年間 上限100,000千円程度	0～2 課題程度

**【研究開発実施予定期間】最長3年（令和2年度～4年度）**

→公募要領 P5～6



## 令和2年度 公募研究開発課題の概要（その2）

公募領域番号	公募課題等	委託研究開発費の規模 <span style="border: 2px solid red; padding: 2px;">（間接経費を含まず）</span>	新規採択課題 予定数
13	感染症対策に資する数理モデルに関する開発研究	1課題当たり年間 5,000千円～7,500千円程度	0～2 課題程度
14	ワクチン・感染症予防に関する開発研究	1課題当たり年間 10,000千円～30,000千円程度	0～2 課題程度
15	超高齢化社会の到来に向けた感染症対策に資する開発研究	1課題当たり年間 5,000千円～7,500千円程度	0～2 課題程度
16	妊婦及び胎児に影響を与える感染症の治療・予防に関する開発研究	1課題当たり年間 5,000千円～7,500千円程度	0～2 課題程度
17	感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、診断・治療・予防法の開発研究	1課題当たり年間 5,000千円～10,000千円程度	0～3課題程度
		<span style="color: red;">【若手育成枠】</span> 1課題当たり年間 5,000千円～7,500千円程度	0～3 課題程度

**【研究開発実施予定期間】 最長3年（令和2年度～4年度）**

→公募要領 P5～6



令和2年度 公募研究開発課題

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
011	<p>ウイルス性出血熱に対する診断法・治療法等の開発及び国際連携に向けた研究 10,000千円～35,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>ウイルス性出血熱に対する迅速診断法及び治療薬等の開発や人命を脅かす重篤な感染症から防御する手法に向けた研究開発を推進</p>
012	<p>ウイルス性出血熱に対する新規予防法・治療法の開発及び感染機序等基盤研究 10,000千円～25,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>本研究開発課題では、ウイルス性出血熱を引き起こす病原体に対する有効性・安全性の高い次世代ワクチンの開発、及びウイルス性出血熱の病原性等の解明に向けた研究を推進</p>
013	<p>エボラ出血熱治療薬等の導入に資する開発研究 5,000千円～7,500千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>本研究開発課題においては、国内におけるエボラ出血熱などの一類感染症の発生に備えるため、より迅速かつ技術移転可能な検査・診断、適切な治療の手法及び体制の確立に資する研究を推進</p>

→公募要領 P41～42

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
021	<p>新興呼吸器ウイルス感染症の迅速診断法の改良及び実用化に関する研究</p> <p>10,000千円～30,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>新型インフルエンザや中東呼吸器症候群（MERS）等の新興呼吸器ウイルス感染症に対して、医療機関、検疫所、地方衛生研究所等で連携して、新たに開発された簡便な病原体迅速診断法のより短時間での検出等を目指した改良及び実用化を推進</p>
022	<p>新型及び季節性インフルエンザウイルスの解析と新規流行予測手法の開発に向けた研究</p> <p>10,000千円～30,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>国内外で流行しているインフルエンザウイルスの情報を集積し、さらに数理モデル等を用いて解析することによって新たなインフルエンザ流行予測手法開発に資する研究を推進</p>
023	<p>国内ならびにグローバルRSウイルスサーベイランスのための研究</p> <p>10,000千円～20,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>国内外でのRSVサーベイランスを活用した、RSV感染症の季節性・地理的情報等の収集と解析、疾病負荷や重症化メカニズムの解明、ワクチン開発・導入に資する基盤研究等を推進</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
031	<p>ウイルス性下痢症の制御法開発に資する網羅的分子疫学研究及び流行予測法の開発</p> <p>10,000千円～25,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>ノロウイルス及びロタウイルスに代表される下痢症ウイルスの流行実態、生活環境におけるウイルス残留実態ならびにマイクロバイーム解析を駆使した不顕性感染等の実態を解明し、効果的な感染制御法確立のための開発基盤構築、網羅的な分子疫学的研究とその応用による流行株予測プログラムの構築に資する研究を推進</p>
032	<p>下痢症ウイルスの感染増殖機構・病原性発現機構の解明に向けた研究</p> <p>10,000千円～25,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>ノロウイルス、ロタウイルスに代表される下痢症ウイルスを対象とした新規治療薬や新規予防薬、消毒薬開発、及びその基盤となる病原性の解析、宿主への感染機序等の解明に資する研究を推進</p>
041	<p>昆虫媒介性ウイルス感染症の世界的流行状況に基づく我が国の総合的対策に資する開発研究</p> <p>10,000千円～40,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>昆虫媒介性ウイルス感染症について、海外諸機関と連携しウイルスの分子疫学的解析、病原性解析、宿主防御免疫解析等の基盤研究、検査・診断法の開発や抗ウイルス薬開発等、昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策の確立に資する研究を推進</p> <p style="background-color: yellow;">→公募要領 P40～42</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
051	<p>HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究 10,000千円～45,000千円程度/ 1～2課題程度</p>	<p>HTLV-1感染者の発生動向を把握するとともに、適切な診断体制の整備及びHTLV-1感染拡大の抑制等に寄与することを目的とした研究を推進する。特に水平感染の実態把握とそれを可能とする検査体制の構築を目標</p>
052	<p>HTLV-1ワクチン開発に関する研究 10,000千円～25,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>HTLV-1感染及び発症を予防する新規ワクチンの開発に向けた研究を推進</p>
053	<p>HTLV-1感染における疾患発症メカニズムの解明と疾患リスク予知・発症予防に資する研究 10,000千円～25,000千円程度/ 1～2課題程度</p>	<p>HTLV-1感染による異なる疾病の発症メカニズムの解明、HTLV-1感染・疾患発症制御法の開発、疾患リスク予知法の確立、治療法の開発に資する研究を推進</p>



応募 番号	課題名 研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数	研究開発目標
061	結核低蔓延化に向けた国内の結核対策に資する研究 上限12,000千円/ 0~2課題程度	我が国における結核の疫学的状況を踏まえ、地方自治体や医療機関等の協力・連携を基盤とした、結核低蔓延化に向けた総合的な結核対策に資する研究を推進
062	難治性・多剤耐性結核に対する革新的治療法の開発とその提供体制に関する総合的研究 10,000千円~20,000千円程度/ 0~2課題程度	国内の結核患者に対し、適切な診療体制、支援体制、新規治療法の開発を通じ、結核の革新的治療体制の確立を推進

応募 番号	<p style="text-align: center;"><b>課題名</b></p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;"><b>研究開発目標</b></p>
071	<p>非結核抗酸菌症の発生動向の把握及び病原体ゲノム・臨床情報に基づいた予防・診断・治療法に関する研究 10,000千円～20,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>継続的な疫学調査による全国規模での実態把握、適切な検査・診断法や治療法の確立、及び新規治療薬等の開発に資する感染機序の解明に向けた研究を推進</p>
081	<p>劇症型溶血性レンサ球菌感染症に対する新規治療薬の開発に向けた研究 10,000千円～15,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>重症化に至る機序解明等の基盤研究、及び劇症型溶血性レンサ球菌感染症等を対象とした新たな治療法開発に向けた研究を推進</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
091	<p>環境中の薬剤耐性菌のモニタリングによる院内感染リスクの早期探知と環境負荷軽減策の開発に係る研究 10,000千円～20,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>環境中及び病室、病院排水等の薬剤耐性菌をモニタリングし、院内感染リスクの早期探知と環境負荷の軽減に資する研究を推進</p>
092	<p>海外とのネットワークを活用したワンヘルスに基づく薬剤耐性菌動向調査に係る研究 10,000千円～20,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>フォーカルポイントの設置を含めたワンヘルス・研究チームの構築、ナショナルデータの取得、Glassへの報告を目指す</p>
093	<p>薬剤耐性菌対策に資する診断・治療法の開発研究 上限15,000千円程度/0～2課題程度</p>	<p>診断法に関しては、抗菌薬の適正使用等の薬剤耐性対策に有用な簡便、迅速な診断法を開発 治療法に関しては薬剤耐性を有する腸内細菌や肺炎桿菌、エンテロバクター、緑膿菌等のグラム陰性菌で、既存の抗菌薬による治療が困難な病原体に有効な新規抗菌薬を開発</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
101	<p>侵襲性酵母様真菌感染症に対する疫学研究及び診断・治療法の開発 10,000千円～20,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>酵母様真菌感染症について、臨床応用を目指した新規迅速診断法・治療法の確立及びその基盤研究、発生動向の把握を可能とする疫学調査及び分子疫学的解析等、重症化を防ぐ感染制御法の確立に資する研究を推進</p>
111	<p>原虫・寄生虫症の感染実態把握に関する研究 10,000千円～20,000千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>原虫・寄生虫症に関する病原性や寄生様式の解明等に向けた基盤的研究及び原虫・寄生虫症に対する検査・診断法を確立し、確立した検査・診断法を活用してサーベイランス体制を強化し、原虫・寄生虫症の感染実態を把握することにより、原虫・寄生虫症の制御に資する研究を推進</p>
112	<p>原虫・寄生虫症の予防・治療に資する開発研究 10,000～20,000千円程度/0～2課題程度</p>	<p>原虫・寄生虫症の新規薬剤・ワクチンの開発に資する研究開発を推進</p>



応募 番号	<p style="text-align: center;"><b>課題名</b></p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;"><b>研究開発目標</b></p>
121	<p>アジア各国の国立感染症研究機関等とのラボラトリーネットワークの促進による感染症の実態把握と対策に向けた研究 上限100,000千円程度/ 0~2課題程度</p>	<p>アジア地域における感染症の実態を把握し、我が国への侵入に備えるため、アジア地域の複数の国立研究機関等とのラボラトリーネットワークの強化に向けた研究を推進</p>
131	<p>感染症対策に資する数理モデル研究の体制構築と実装 5,000千円~7,500千円程度/ 0~2課題程度</p>	<p>感染症対策や予防接種行政等における判断の科学的根拠となる感染症伝播・流行予測を可能とする数理モデルの実装と解析データの臨床現場等への情報共有体制の構築を目指した応用研究を推進</p>
141	<p>画期的な新規ワクチンや病原体暴露後予防法の開発・実用化に資する研究 10,000千円~30,000千円程度/ 0~2課題程度</p>	<p>シーズン毎に主たる流行亜型が異なる可能性があるインフルエンザに対する、所謂“万能ワクチン”や、未だ有効な治療法が無く、一旦発症すればほぼ100%が死亡する狂犬病等に対し暴露後予防を可能とするワクチンや抗体製剤の開発に資する研究を推進</p>



応募 番号	<p style="text-align: center;"><b>課題名</b></p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;"><b>研究開発目標</b></p>
151	<p>超高齢化社会の到来に向けた感染症対策に資する研究 5,000千円～7,500千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>高齢化による免疫機能や身体機能の低下などに起因する、高齢者特有の感染症分野（結核、非結核性抗酸菌症、耐性菌（AMR）感染症、真菌感染症等）における問題点を抽出し、感染症罹患の予後・転帰、回復後のQOLに係る危険因子の特定、発症予防や治療等の介入手法の開発など、超高齢化社会における高齢者の感染症対策に資する研究を推進</p>
161	<p>妊婦及び胎児に影響を与える感染症の診断・治療・予防に関する開発研究 5,000千円～7,500千円程度/ 0～2課題程度</p>	<p>妊婦及び胎児に影響を与える感染症について、予防・治療法を確立することを目標として、「創薬につながる基礎研究の強化」、「新たな診断法や治療法・予防法の開発」など、妊婦等に対する感染症の影響に関する基礎研究及び診断・治療・予防法の確立に資する研究を推進</p>



応募 番号	<p style="text-align: center;"><b>課題名</b></p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 <b>(間接経費を含まず)</b>/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;"><b>研究開発目標</b></p>
171	<p>感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、診断・治療・予防法の開発研究 5,000～10,000千円/ 1～2課題程度</p>	<p>現時点で実施する必要性の高い感染症に関連する研究を実施し、総合的な感染症対策の強化に資する基盤技術の創出又は革新的な感染症の診断・治療・予防等に関する方法の開発を推進（ただし、エイズ及び肝炎に関連する開発研究は除く）</p>
172	<p><b>【若手育成枠】</b> 感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、診断・治療・予防法の開発研究 5,000～7,500千円/ 0～3課題程度</p>	<p>現時点で実施する必要性の高い感染症に関連する研究を実施し、総合的な感染症対策の強化に資する基盤技術の創出又は革新的な感染症の診断・治療・予防等に関する方法の開発を推進（ただし、エイズ及び肝炎に関連する開発研究は除く）</p>

## ○e-Radでの応募（留意点）

### 応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。

### 応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

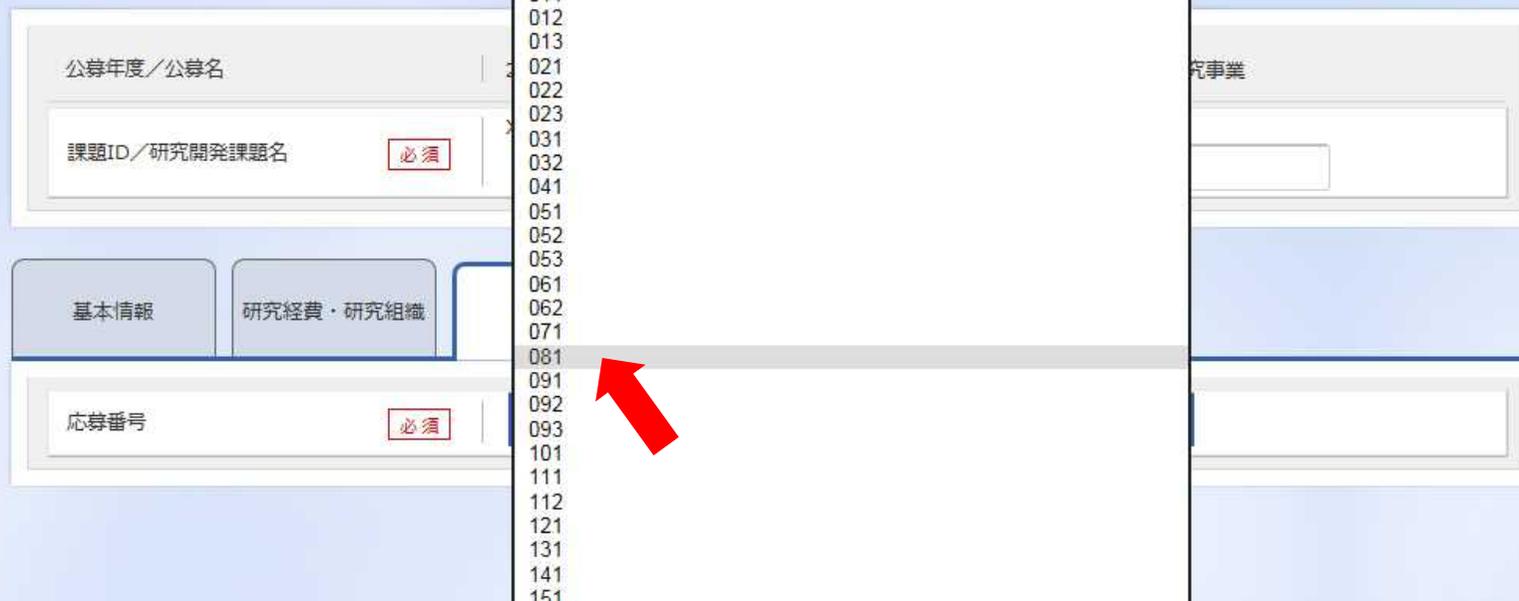
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。

### 応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。

各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」



The screenshot displays a web form for application registration. It features several input fields and tabs. A dropdown menu is open, showing a list of alphanumeric codes from 011 to 151. A red arrow points to the '081' option in this list. The form includes fields for '公募年度/公募名', '課題ID/研究開発課題名' (marked as required), '基本情報', '研究経費・研究組織', and '応募番号' (marked as required).

公募年度/公募名	
課題ID/研究開発課題名	必須
基本情報	
研究経費・研究組織	
応募番号	必須

- 011
- 012
- 013
- 021
- 022
- 023
- 031
- 032
- 041
- 051
- 052
- 053
- 061
- 062
- 071
- 081
- 091
- 092
- 093
- 101
- 111
- 112
- 121
- 131
- 141
- 151

## ・ 審査項目と観点

### ① 事業趣旨等との整合性

- ・事業趣旨、目標等に合致しているか

### ② 計画の妥当性

### ③ 技術的意義及び優位性

### ④ 実施体制

### ⑤ 事業で定める事項

- ・革新的な感染症の予防、診断及び治療に関する方法の開発を見据えた研究であるか
- ・感染症研究の振興・発展に資する基礎研究であり、今後の基盤技術の発展が期待できるか
- ・感染症対策の強化に役立つ成果が見込まれるか
- ・現時点で実施する必要性・緊急性を要する研究であるか
- ・他の民間研究などにより代替できるものではないか
- ・国が行う感染症対策の推進に資する成果が見込まれるか

### ⑥ 研究を行うにあたり配慮すべき事項

- ・生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか

## ・まとめ

本事業では、診断法・治療法・予防法の開発等の実用化研究とともに、感染症対策の強化に資する基礎研究及び基盤技術の開発まで、幅広く支援を行います。国民の公衆衛生の向上・国民の健康に資する研究開発課題提案をお待ちしています。

令和元年12月4日（水）正午〆切

➤ご不明点がございました際は、「X. 照会先」の連絡先までお問い合わせください。

→公募要領 P39